



「日本遺産」認定のまち 忍びの里伊賀・甲賀

【問い合わせ】
忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事務局
伊賀市観光戦略課 ☎0595-22-9670
甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190



甲賀流リアル忍者館展示

◆ 忍者は黒い衣装を着ていたの？

忍者と言えば「黒い装束」を思い浮かべるかもしれませんが、実際は違ってました。忍者の役目の一つは、闇夜に忍び込んで敵方の秘密を探ったり、たくらみを暴くこと。そのため目立たずに行動する必要がありました。忍術伝書の『正忍記』には、濃紺色や柿渋色（柿の熟した色）の衣装を着ていたことが記されています。これらは元々、野良仕事や農作業に着ていた衣装で、濃紺色や柿渋色の染料には虫やマムシよけの効果もありました。実際の忍者の装束に関する具体的な資料は少なく、多くは創作やフィクションの影響によるものがあります。私たちのイメージに欠かせない黒い装束が定着したのは、実は歌舞伎などの江戸時代の演劇からで、怪しい姿をしていたほうがわかりやすかったためと言われています。その後、戦後の忍者マンガや映画により、黒い装束は忍者のユニフォームというべきものになりました。



伊賀流 忍者博物館展示

日本遺産ポータルサイト



伊賀市 第40回 上野城新能

上野城新能は、能を大成した観阿弥の生誕の地である伊賀の秋の風物詩の1つとして毎年開催しています。ライトアップした伊賀上野城をバックに、月明かりとかがり火に照らし出された幻想的な舞をお楽しみください。



と き 9月30日(土) 午後6時～
と ころ 伊賀上野城本丸広場 特設舞台
※雨天の場合、伊賀市文化会館
演 目 ○喜多流 能「枕慈童」(まくらじどう)
○和泉流 狂言「口真似」(くちまね) ○仕舞
料 金 1席1,500円※呈茶付:2,000円 **定 員** 300席
※荒天などにより開催を中止または内容を変更する場合があります。
最新情報はホームページをご覧ください。
チケットの申込先・問合せ
(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595-22-0511



▲HP

甲賀市 伊賀市・亀山市の広報紙へは「セラミック・アート・マーケット」についての記事を掲載しています。

情報交流広場 となりまち いこが

亀山市 「亀山7座」に挑戦！ ～完登バッジ・完登証をゲットしよう～

亀山市では、市域の山々の素晴らしさを多くの人に知ってもらい、新たな観光資源として次世代へ継承するため、標高約700メートル前後の代表的な7つの山々を「亀山7座」と選定し、登山イベントなどの取り組みを行っています。



本年度は、亀山7座すべてに登頂した人に「完登バッジ」と「完登証」を交付しています。ぜひこの機会に、亀山7座の完登に挑戦してみてください。完登バッジの申請方法などについて、詳しくは亀山市ホームページをご覧ください。

問合せ 「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク事務局(商工観光課観光・地域ブランドグループ) ☎0595-84-5074



▲亀山市HP



甲賀市から全国そして世界へ

7月24日(月)に、全国大会および世界大会へ出場される選手を激励するため、壮行会を開催しました。
「甲賀テニススポーツ少年団」、「水口ジュニアソフトテニスクラブ」、「甲南剣道スポーツ少年団 剣徳会」、「水口剣道スポーツ少年団 剣徳会」、陸上の「甲賀JAC」、軟式野球の「甲賀セントラル」が全国大会、ストリートダンスの「ダンススタジオBOUNCE BACK池田空羅さん」が、世界大会出場の切符をつかみました。
全国大会・世界大会に出場された選手は、日頃の練習が実を結び、最高の思い出ができたのではないのでしょうか。

「甲賀セントラル」の皆さん



全国大会・世界大会に進出された皆さん

元気な まちがど

ダブル優勝!! 第58回滋賀県消防操法訓練大会

7月30日(日)に滋賀県消防学校で開催された第58回滋賀県消防操法訓練大会で、甲賀市消防団がポンプ車の部・小型ポンプの部2種目ともに制覇しました。甲賀市からは4隊が出場し、酷暑の中、どの隊も素晴らしい操法により日頃の成果を発揮されました。

日々のお仕事の中での訓練、大変お疲れさまでした。

種目	出場隊	順位
ポンプ車の部	甲賀方面隊 選抜チーム	優勝
	水口方面隊 第1分団	第6位
小型ポンプの部	甲南方面隊 第3・4分団	優勝
	土山方面隊 第3分団	第3位



消防操法訓練大会の様子

大会後に記念写真



信楽焼×お茶×地元産ニワトリ 地産地消へ「お茶かつ」販売!

甲南高校の生徒が育てた鶏を使用し、土山町の「緑茶」で味付けされた「お茶かつ」が8月8日から期間限定で土山SAで販売されました。この取り組みは、地産地消に繋げようと甲南高校の生徒による考案で昨年からはじめられました。

また、お皿は信楽高校の生徒が制作を担当し、20種類の色とりどりのお皿で提供されました。若者によるコラボ企画商品として、甲賀市の魅力がより多くの人に伝わったのではないのでしょうか。



販売された「お茶かつ」



店頭で置かれたポップ